

指導論文（博士論文・修士論文・学士論文）一覧

九州大学名誉教授 小宮 秀一

(氏名；旧姓)

博士論文・修士論文



博士論文（九州大学大学院人間環境学府 行動システム専攻 健康科学コース）

- 平成 19 年度：日本人小児の身体組成推定式の開発及び Adiposity Rebound 早期発現群
の特性 増田 隆
- 平成 19 年度：肥満小児における内臓脂肪蓄積の評価 寺本 圭輔

修士論文（九州大学大学院人間環境学府 行動システム専攻 健康科学コース）

- 平成 11 年度：性差・体力レベル差による身体組成の違いが最大酸素摂取量に
及ぼす影響 寺本 圭輔
- 平成 12 年度：幼児期肥満に関する身体組成学的研究 衛藤稚英子
- 平成 12 年度：幼児期の体脂肪に関する縦断的研究 乙木 幸道
- 平成 12 年度：卵胞期と黄体期における有酸素性運動の代謝・ホルモン動態に
及ぼす影響 清水 扶美
- 平成 16 年度：小児の除脂肪量指数と体脂肪量指数に関する研究 中尾 武平

学士論文



学士論文（中村学園大学食物栄養学科）

昭和59年度：肥満治療に関する栄養学的及び体育学的研究

刀坂 利恵・栗崎 美香・森松 美登志

昭和60年度：肥満治療における栄養学的・体育学的研究Ⅱ－6ヶ月間の効果と治療法の問題点

桑原 知・田籠 くみ・豊福 玲子・原田 靖子

昭和61年度：肥満治療に関する栄養学的・体力科学的研究Ⅲ—長時間運動時における脂質代謝—

高宗由美・長井利江・山下久美

昭和62年度：肥満治療に関する栄養学的・体力科学的研究Ⅳ—60分間歩行時における呼吸循環系機能と血中生化学成分の動態からみた脂質代謝

内田 法子・児玉 裕子

昭和63年度：肥満治療における栄養学的・体力科学的研究Ⅴ—Lactate Threshold水準強さによる歩行を中心とした肥満の治療効果—

手冢 朝子・坂谷 佳美・崎山 幸美・出口 恭子・安井 恵子

平成元年度：肥満治療における栄養学的・体力科学的研究Ⅵ—Lactate Threshold水準強さによる長時間運動時と回復時における安全性と有効性に関する日内較差—

遠山 美香・目加田 優子

平成2年度：インピーダンス法による体脂肪率（%Fat）推定式の確立

綾部 美津子・堀 遵子

平成3年度：非監視型による肥満治療法の検討

本田 由佳・松尾 由紀子・松本 実哉子

平成4年度：体脂肪分布を考慮した肥満の判定基準

中尾 仁美・前田 千佳

平成5年度：やせに関する健康科学的研究

新川 友見・高橋 昌子

学士論文（九州共立大学スポーツ学部スポーツ学科 コンディショニング領域

専攻）

平成 21 年度：総体脂肪量と体脂肪分布及び血清コレステロールに及ぼす長期間最下
自転車エルゴメータ運動の影響

石原 勇次郎 岩田 祥孝 河村 瑞姫 陶山 俊介

平成 21 年度：文科省-新・旧体力テスト結果からみた児童・生徒の体力・運動能力評
価

岸田 遼 末安 勇輝

平成 21 年度：幼児の運動能力の発達に及ぼす身体発育パターンと身体活動量の影響

中島 香鷹 末永 友里香 長谷部 由香

平成 21 年度：幼児期の身体活動量が児童期の運動能力の発達に及ぼす影響

本間 美希

平成 21 年度：陸上競技種目別選手の競技歴及び競技成績別にみた体型・身体組成

塚本 千英美 秦 智也 増本 和之